科目名: 母性看護学概論	必修	1単位(45時間)
(Introduction to Maternity Nursing)		

履修年次/時期: 2年次 前期　　授業形態: 講義,演習

主担当教員: 村井 みどり

主担当教員詳細: 看護師・助産師実務経験等5年以上:母性看護の知識や技術もだが、母性看護の心が培 われれるよう臨床経験の場面等も紹介しながら教授する

担当教員名: 小松由利絵

学修目的	リプロダクティブ・ヘルスの基礎(概念、生理、倫理、法、制度)や動向およびウイメンズヘルスに関する看護を幅広く理解し、母性とは何か考えることができる。 関連するCP: CP1,CP2,CP3,CP4,CP6　　科目No. KNI-220		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	◎
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	①リプロダクティブ・ヘルスに関する概念を説明できる ②生殖に関する生理を説明できる ③リプロダクティブ・ヘルスに関する世界・日本の動向を説明できる ④リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理について説明できる ⑤リプロダクティブ・ヘルスに関する法や施策と支援内容を説明できる ⑥女性のライフサイクル各期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し各期の健康問題と看護を説明できる ⑦母性看護領域において遭遇する生命倫理的問題について考え記述することができる ⑧母性の対象理解の基盤となる概念について説明できる		
授業概要	母性の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解するとともに、母性の健康に関する諸問題とヘルスケアシステムについて学習する。また母性看護を展開するために必要となる理論および看護技術を学習する。		
評価方法	定期試験(70%)課題レポート(30%) 評価に対するフィードバックは掲示で行う		
予習・復習時間	【予習】1.9時間 【復習】1.9時間		
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学概論 母性看護学① 太田操著:ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程第4版、医歯薬出版		
参考書	絵本「ちいさなあなたへ」や「生きてるだけで百点満点」などの書籍も含めて授業の中で適宜紹介します。		
オフィスアワー連絡先	村井 みどり 9:00～17:00 3号館3階研究室 m.murai@kdu.ac.jp 不在時はメールをください。 小松由利絵 9:00-17:00 3号館3階研究室 不在時はメールしてください		

実 施 回	第1回	実 施 日	2026/04/08 (水)	時限	2	班	
授業計画	ガイダンス ①科目の学修目的、到達目標、授業概要、評価方法がわかる 第1章 母性看護の基盤となる概念 ①母性看護の使命を説明できる ②母性・父性と親性を説明できる ③リプロダクティブヘルス/ライツについて説明できる ④セクシュアリティーについて説明できる ⑤ジェンダーについて説明できる ⑥ジェンダーによる問題を説明できる	予　習	テキスト1章と3章を読む シラバスを確認しておくなど必要なテキストはもちろん学ぶ姿勢を必ず持参してください！				
		復　習	教科書の該当ページを読み、授業内容を整理し理解を深める				
		キーワード	リプロダクティブヘルス/ライツ 母性 父性 親性 母子関係 愛着形成 母子相互作用 セクシュアリティー ジェンダー 性的マイノリティ 性同一性障害 LGBT				
授業形態	講義	担当	村井				

実 施 回	第2回	実 施 日	2026/04/09 (木)	時限	2	班	
授業計画	第1章 母性看護の基盤となる概念 ⑦ウイメンズヘルスを説明できる ⑧ヘルスプロモーションを説明できる ⑨エンパワーメントを説明できる 第3章 女性のライフサイクルと家族 ①生活環境と多様化するライフコースを説明できる ②家族をめぐる基本概念を説明できる ③家族の構造と機能を説明できる ④家族の発達を説明できる	予　習	テキスト1章と2章を読む				
		復　習	教科書の該当ページを読み、授業内容を整理し理解を深める				
		キーワード	ウイメンズヘルス ヘルスプロモーション エンパワーメント				
授業形態	講義	担当	村井				

実 施 回	第3回	実 施 日	2026/04/15 (水)	時限	2	班	
授業計画	第2章 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 ①母子保健に関する用語を説明できる ②出生に関する統計を説明できる ③死亡に関する統計を説明できる ④人工妊娠中絶の動向と課題、看護師の役割を説明できる ①母子支援の関係法規を説明できる ②母子支援における看護師の役割を説明できる	予　習	テキスト2章と3章を読む				
		復　習	関連授業「社会福祉概論」の振り返りをしておくこと				
		キーワード	出産年齢 出生率 合計特殊出生率 妊産婦死亡 周産期死亡 死産 流産 人工妊娠中絶率 新生児死亡 乳児死亡 母子保健法 母体保護法 DV防止法ワークライフバランス 労働基準法男女雇用機会均等法 育児・介護休業法				
授業形態	講義	担当	小松				

実 施 回	第4回	実 施 日	2026/04/16 (木)	時限	2	班	
授業計画	第3章 母性看護の対象理解 ①ヒトの発生・性分化のメカニズムを説明できる ②生殖器の形態、役割を説明できる 第4章 女性のライフステージ各期における看護 ①ライフステージ各期における健康問題を説明できる ②ライフステージ各期における心理・社会的特徴を説明できる 第5章 女性のライフステージ各期における看護（思春期・成熟期女性の健康課題と看護）①第二次性徴を説明できる ②家族計画、受胎調節について説明できる ③月経異常、月経随伴症状と看護について説明できる ④性感染症と看護について説明できる ⑤やせと摂食障害と看護について説明できる ⑥若年妊娠と課題を説明できる ⑦不妊症について説明できる ⑧女性生殖器の疾患（子宮筋腫・子宮内膜症）と看護について説明できる	予　習	テキスト3章と5章を読む 関連授業「人体の構造と機能Ⅱ」の振り返りをしておくこと				
		復　習	教科書の該当ページを読み、授業内容を整理し理解を深める				
		キーワード	ヒトの発生 性分化 性周期 初経 月経 性行動 性反応 受精 着床 第二次性徴 家族計画 受胎調節 月経異常 月経随伴症状 性感染症 やせ 摂食障害 若年妊婦 不妊症 女性生殖器の疾患（子宮筋腫・子宮内膜症）				
授業形態	講義	担当	村井				

実 施 回	第5回	実 施 日	2026/04/22 (水)	時限	2	班	
授業計画	第5章 女性のライフステージ各期における看護 （更年期・老年期女性の健康課題と看護） ①ホルモンの変化（閉経）と検査・治療について説明できる ②更年期症状と看護について説明できる ③骨粗しょう症と看護について説明できる ④尿失禁と看護について説明できる ⑤女性生殖器疾患（骨盤臓器脱・萎縮性膣炎・外陰炎）と看護について説明できる	予　習	テキスト3章と5章を読む				
		復　習	教科書の該当ページを読み、授業内容を整理し理解を深める				
		キーワード	エストロゲン 更年期症状 HRT 骨粗しょう症 閉経 骨盤臓器脱 尿失禁 萎縮性膣炎 外陰炎				
授業形態	講義	担当	村井				

実 施 回	第6回	実 施 日	2026/04/23 (木)	時限	3	班	
授業計画	第6章 リプロダクティブヘルスケア ①DVの影響および健康問題について説明できる ②性暴力被害者支援の取り組みを説明できる ③児童虐待の影響について説明できる ④児童虐待防止の母子保健活動について説明できる ⑤母子の健康に影響を及ぼす生活環境要因と対策を説明できる ⑥生殖補助医療と倫理的課題について説明できる ⑦出生前診断と倫理的課題について説明できる ＊GW2事例の提示 ：母性看護学概論（生命倫理）産まれてくることと死　ぬこと ①生殖補助医療技術（ART）家族をつくること ②重症新生児治療の差し控え・中止	予　習	テキスト6章を読む 母性看護領域において遭遇する生命倫理的問題について調べておくこと				
		復　習	教科書の該当ページを読み、授業内容を整理し理解を深める GW事例について理解を深める				
		キーワード	環境汚染物質 環境ホルモン ダイオキシン PM25 放射線 災害 飲酒 喫煙DV 防止法 児童虐待 生命倫理 看護倫理 自己決定 プライバシーの保護 生殖補助医療 出生前診断 優生思想 人工妊娠中絶				
授業形態	講義	担当	村井				

実 施 回	第7回	実 施 日	2026/05/13 (水)	時限	2	班	
授業計画	第6章 リプロダクティブヘルスケア ①社会弱者である母子の支援について説明できる ②在日外国人母子の支援を説明できる ③不妊症夫婦の支援を説明できる ④障害のある子どもを出産した母親への支援を説明できる ⑤低出生体重児を出産した母親への支援を説明できる ⑥ペリネイタルロスを体験した両親への支援を説明できる	予　習	母性看護学概論授業のふりかえり				
		復　習	教科書の該当ページを読み、授業内容を整理し理解を深める GW事例についてグループメンバーで学びを共有する				
		キーワード	母子世帯 在日外国人母子 ペリネイタルロス				
授業形態	講義	担当	村井				

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/05/20 (水)	時限	2	班	
授業計画	＊GW発表 事例をもとにグループワークを行い母性看護学領域において遭遇する生命倫理的問題、看護について考え、クラス全体で発表・討議する。 第4章 母性看護に必要な看護技術 ①問題指向型とウエルネス志向型の違いを説明できる ②ウエルネス看護診断の特徴について説明できる ③ウエルネス看護診断の意義について説明できる ④セルフケア理論について説明できる	予　習	テキスト4章を読む 関連授業「看護過程」のふりかえりGW発表準備				
		復　習	課題（評価）レポートを作成して、母性看護に対する理解を深める				
		キーワード	セルフケア理論 ウエルネス看護診断				
授業形態	演習	担当	○村井				